

## 「合併問題」、市制施行を成就 できなかった責任を感じる



浜田 等議員

**浜田 等議員** 平成の大合併問題、本町にとってみれば、せつかくのチャンスであった「市制施行」。それにより、「宮之城町」の名称が残ることを期待した住民の願いもむなししく、三町合併で終わろうとしている。私は、市町村合併問題が始まった平成十二年十二月議会から今日までの足掛け五年、十五回の定例議会を通じて「広域合併で市制ができる」を目指して、後顧に憂いを残さぬ合併の環境づくりや、町長のリーダーシップについて提言し、論戦してきた。また、議会としても祁答院町、

入来町議会とも数回の話し合いの場を持つてきたが、結果は前述のとおり、誠に残念であった。このことについて、その責任を強く感じている一人であるが、町政を司る町長として、これをどのよう

### 地域のまとめ役として責任を感じる

**北村町長** 私は、当初から一貫して、四町または五町が最も望ましい枠組みであるという信念に基づき、これまで議会をはじめ、町民の方々にも説明もし、理解を求めながら精一杯の努力をしてきたが、あのような結果となり、誠に残念である。そして、宮之城の町長として、この地域をまとめきれなかった責任を、大いに感じる。



合併関連議案を全会一致で可決（6月28日 本会議）

### 合併意識調査は必要なかったか

**浜田議員** 市町村合併に関する住民の意識調査が、県内のほとんどの市町村で実施されている。本町は、当初予定していた四町合併の枠組みが壊れ、三町合併という結果になったが、合併枠組み等に

関する調査は、一回も実施されていない。住民全体の意向を聴く必要はなかったのか。

### 合併説明会での意見を聴いて対応

**町長** 平成十四年五月から、五回ほどの住民説明会を持ち、その時点での状況など、詳細に説明し

て理解を得たと思う。合併の枠組み等について、特に反対意見等は聞かれなかったため、アンケート調査は実施しなかった。

### 「宮之城」の名称を残したい

**浜田議員** 屋地区の公民館長は、合併により「宮之城町」の名称がなくなる。「宮之城」の名称を残さなければという町民の強い意見を踏まえ、「大字屋地・屋地区公民館」の名称を「宮之城地区公民館」・「宮之城屋地区公民館」・「屋地区公民館」を全世帯に提示し、最も民主的な方法で意見集約をされようとしているが、町長の所見を伺う。

### ふさわしい名称の残りに期待する

**町長** 屋地区公民館の「宮之城」の名称を残す運動が実施されていると聞き、有意義な取り組みと思う。最もふさわしい名称が残ることを期待したい。